

「こまえくぼ1234」が1周年

広報誌『こまえがお』を創刊しま～す！



特集 子育てを楽しく！

団体紹介 NPO法人あすなる

- こまちゃんのステキなお店みつけた
- 笑顔になれるアナログtwitter
- 四コマまんが

おめでとう！そしてありがとう！

「こまえくぼ1234」開設 1周年



センター長
日比野 浩

狛江市市民活動支援センター「こまえくぼ1234」がオープンして1年が経ちます。平成15年に「市民参加と市民協働の推進に関する基本条例」が制定され、設置検討委員会、開設準備委員会などで検討を重ねられ、平成28年「こまえくぼ1234」は開設されました。開設にあたりご支援、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

1年目は、「こまえくぼ1234」周知のため、地域の活動や会議に参加しPRなどを行いました。ネットワークの推進として、①子ども関連のボランティア・市民活動団体の情報交換会を開催、団体間をつなぐ活動に結びつきました。②企画段階から市民が関わり団体交流会を実施、各団体が抱える課題を共有し、次の事業へのヒントを得ることができました。③市役所の協力

を得て、大学のボランティアサークルとの共催による、小中学生対象の清掃ボランティア活動を実施しました。④多世代が交流を図りながら地域活動に触れる機会として、そばうち体験を支援しました。「こまえくぼ1234」は、市民から運営委員が選出され、運営されています。「ホームページに関わる部会」「体験学習に関わる部会」、この季刊誌「こまえがおに関わる部会」など、市民の協力で運営されています。平成29年度は引き続き「こまえくぼ1234」のPRに努めます。どんな活動や団体があるのかを多くの方々に知っていただき、気軽に利用していただける「こまえくぼ1234」を目指します。新しいつながりや活動のきっかけを提供し、市民の皆さんが主体となる市民活動の支援をしていきます。「こまえくぼ1234」が関わることで、市民と市民、市民と行政がつながり、よりよい狛江のまちづくりが進んでいくことを目指していきます。今後ともご支援ご協力を、よろしく願いいたします。

「こまえくぼ」にエールを！

オープン当初は、運営をお願いしている狛江市社会福祉協議会、運営委員会の皆さん、市との3人4脚でしたが、今は10人11脚、20人21脚…と徐々にご理解、ご協力いただける方々が増えていることを実感しています。これからもっと沢山の方向に「こまえくぼ1234」を知ってもらい、使ってもらって、8万人8万1脚を目指して一緒にがんばりましょう。



狛江市政策室長
田部井 則人

1周年おめでとう！さかのぼれば平成19年「設置検討委員会」が発足、中央公民館や駅前三角地、空き店舗での設置等が難しく、現在の小田急高架下で開設の経緯があります。開設1周年を迎え、諸問題には前向きに、将来、更に市民が使い易い場所で、市民活動支援の重要な拠点としての機能を継続して発揮できる環境を期待し、市民としてエールを送ります。



市民
土岐 毅

開設して1年たちますが、地域を回っていると、支援センターの場所や目的を知らない方が、まだ多いように感じています。今後も知ってもらおう活動の継続が必要と感じました。また「こまえがお」は、小人数で長期に渡り活動する高齢者や文化的グループなど、幅広い分野の活動を発信し、市民に身近な広報紙になる事を期待しています。



民生委員
門脇 由美子

活動者の声から実現、ホンネ大会

団体交流事業のプレ企画として、8月6日、「NPOのホンネ」を開催しました。

企画の中心となった課題の共有では、NPO法人化によるメリット・デメリットが話されました。「行政からの業務受託に有利」や「税制面の優遇」などの一方、「事務処理の煩雑さ」などが指摘されました。また、資金面の厳しさや、NPO法施行から時を経て、活動者や運営者の高齢化を訴える声が多く出ました。活動の後継者やマンパワー不足に関しては、ホームページ等による活動者の募集や、退職後の世代への働きかけ等を検討します。

また、団体交流事業について、企業や経済団体、町会・自治会などの地縁組織などとの交流の機会といった、市民活動団体以外の分野の団体・組織との交流という具体的な提案がありました。狛江市商工会の方を招いての、第1回団体交流サロン「夜、寄る?よるえくぼ」の実施につながっています。

参加団体:

狛江市NPO連絡協議会/NPO法人 狛江共生の家/NPO法人 狛江さつき会/NPO法人 ハンディキャブこまえ/こまえチャイルドライン/NPO法人フードバンク狛江/子育て昔遊びの会

狛江クリーンアップ大作戦!!

秋晴れの10月2日(日)、明治大学ボランティアサークルLINKsとこまえくぼの共催で「こまえクリーンアップ大作戦!!」を実施しました。小・中・大学生からなる「しろくま」「けんだま」「カリフォルニアセブン」の3チームに分かれ、作戦会議をしてからいざ出陣! 重さで順位を競った結果、優勝は「しろくま」に。約1時間で、3チーム合計で、なんと25kgものゴミを拾い集めることができました。

みんなで行った振り返りでは、「拾いきれない位沢山のゴミがあった」「普段使っている身近な物がゴミになっていた」「あいさつやお礼を言ってくれる人がいて嬉しかった」など感想や気づいたことを共有しました。少しでも、体験や気づきが参加者の心に残ることを願います。



ホームページができました!!

団体検索で、狛江市で活動する団体がいつでも何をしているのか知ることができます。団体登録すると専用ページが持て活動報告、イベント開催、ボランティア募集などを伝えることができます。個人登録で、地域のために役立ちたい、同じ思いの人達とつながることができます。登録料は無料です。ご利用方法は【こまえくぼ】までお問合わせください。

URL <http://komaekubo1234.kokosil.net/>



地域の中で重度障がい者が自立して暮らしていける場を!

NPO法人 あすなる

■今年こそは実現との想いで!

「念願であるグループホーム設立へ一歩前進の年にしたい」と大西理事長と簾内理事は強く語ります。



大西誠子 /NPO法人あすなる理事長(左)

簾内浩一 /NPO法人あすなる理事(右)

2002年に粕江市市義会に「重度身体障害者グループホーム」設立支援の陳情書を提出。2004年に陳情は議会で採択されました。

その後、何度か協力のお話がありましたが、実現には至りませんでした。「あすなる」の会員も家族もどんどん高齢化してきています。

市議会で陳情が採択されてから14年。お隣の調布市でも、2014年に重度障害者グループホームが設立されました。障がい者施設は土地の提供など、市民のあたたかい支援や理解が必要不可欠です。障がい者が地域の中で充実した暮らしができるよう、どうしたら良いか、「あすなる」は懸命に考えながら活動を続けています。

「市民のみなさんと行政の力、また、市民活動支援センターの後押しなど、多くの皆様のあたたかいご支援を心から熱望します。」

■重度身体障がい者も地域で自立

1980年都立府中養護学校に通う重度身体障がい児の親たちが中心になって「あすなる会」を設立。障がい児達が地域の中でいきいきと充実した暮らしができることが目的でした。

しかし、障がい児も成人になり、親も高齢化。在宅での生活が難しくなってきました。将来を考え、障がい者が地域で自立して暮らしていくために家族的環境の「グループホーム」設立を目指して、2003年に「NPO法人あすなる」の認可を受け、行政への陳情活動や、他施設への見学、勉強会等の活動を展開してきました。

支援が必要な利用者や家族のため、居宅介護事業として「ライフケアさんさん」を開設。2005年、粕江市で最初の短期入所事業を開始しました。現在では「ライフケアさんさん」は利用者や家族のオアシスとして、なくてはならない場所です。



■キャンパスのない粕江に大学生の輪

「あすなる」には成城大学と明治大学の学生ボランティアが沢山います。20年程前に両大学の学生が個人的に活動に参加していました。「同世代の人たちと定期的に交流させてあげたい」と思っていた大西理事長の熱意で、両大学のサークル部の中に「あすなる」の活動として受け入れてもらいました。現在30数名の学生が活動しています。

毎月第2土曜日、上和泉地域センターを中心に



交流活動をしています。その他、ディズニーランドへのバスツアー、電車に乗ってのレクリエーション、東京粕江ロータリークラブ主催のふれあい運動会にも学生たちが積極的に参加しています。

大学生との交流は会員にとって本当に楽しいふれあいの場です。また、学生たちも異口同音に「あすなるは楽しいから続けられる」と言っています。



再利用で生ごみの少ないまち、粕江に!



プチトマトの会

ぼかしや電動式生ごみ処理機などを利用して堆肥化する人々への講習会も実施しています。毎日出る生ごみを燃えるごみに出すのはもったいない。

生ごみには多くの栄養素が含まれています。生ごみはすぐに腐敗しますが、発酵促進材“ゆうきマン”をふりかけると、生ごみは漬物のように発酵します。発酵した生ごみを土に戻して栽培した野菜の美味しいこと。健康生活にチャレンジしませんか。

TEL 03-3488-5300(粕江市清掃課問合わせ)

この指とまれ!



あなたのアイデアを実現!



理事

中村雅史さん

イベント等を通し、外国籍の人々と文化体験を通じた交流の場を提供しています。昨年、市民の皆さんの要望に応えようと、協力者を募り英会話サロン「こまぐりっしゅcafé」を始めました。現在、同様に協会事業に対して希望や要望を募集中です。無理なものでも可能性を模索したら実現するかも?非会員の方や自分で運営したい方も大歓迎です。ちょっとやってみませんか?

E-mail info@komae-kifa.com (国際交流協会)

粕江にスケートボード練習場が欲しい!



代表

宇多川清治さん

小中高生たちは、居心地が良く健全な放課後のたまり場を求めています。世田谷区内にはいくつか常設のスケートボード場があります。日曜日には使用しない企業の駐車場や、粕江市管理の空きスペースを一時的にお借りして、仮設のスケートボード練習場をつくりましょう。スロープや滑走フロアは、粕江市の協働事業補助金を申請して、移動可能な設備を作ります。推進グループを立ち上げて、協力しましょう。利用者や小中高生大歓迎です。

TEL 090-914-49384(宇多川)

こまちゃんのステキなおみせ みつけた!



色とりどりの花を散らしたハガキやシール。手に取った途端にほんわり癒されます。

このメッセージカードを誰に贈ろう?思いを巡らすだけで心が華やぎませんか。

本物の押し花をあしらったペーパーグッズを作っているのは、あいとぴあセンターにある生活介護事業所“麦の穂”です。麦の穂では、重度知的障がいを持った方々を、様々な創作活動、社会活動などを通して、粕江市民として街で心地良く過ごせるようにサポートしています。創作活動では、通所者さんが

それぞれの得意な能力を発揮します。織り物(コースター、マフラー等)や箸置き、組紐などを製作、販売している中で、特に好評なのが、この押し花シリーズ。昨年末に市役所ロビーで行われた障がい者週間の展示販売でも、完売の盛況ぶりでした。

さて、この押し花。こんなに色鮮やかな花達をどうやって集めているのでしょうか。

通所者さんご家庭や、西河原公園、多摩川の土手に咲く四季折々の花を摘んでいるのです。



- ①ハガキ/1枚80円
- ②メッセージカード(封筒付)/1組80円
- ③ワンコインサイズポチ袋/3枚入100円
- ④シール/5枚入50円・10枚入100円



(全て表情が違うから、いくつも買い集めたくくなりますね)

ベースとなるハガキや封筒も、牛乳パックのパルプを漉いて作ったものです。

通常は、あいとぴあセンター1階のふれあいサロン夢(むー)と、粕江駅前の泉の森会館2階カフェ、和泉多摩川駅近くのみんなの広場にて販売しています。秋にあいとぴあセンターで行われる健康まつりと、12月に市役所で行われる障がい者週間展示では、沢山のラインアップが揃います。まとまった数の注文なども、可能な限り応じてくれます。



問い合わせ先:生活介護事業所“麦の穂”

(社会福祉法人粕江市社会福祉協議会)
粕江市元和泉2-35-1あいとぴあセンター 3F
03-3488-8328(平日8:30~17:15)

『こまえがお』創刊

作: なかはたじゅんこ

「こまえ」の「えが」が「あ」で「こまえが」か。



いろいろな人、活動をクローズアップしているから「こまえが」か「あ」とも言えるのです。

他にも、こまえが あっ!?とか、こまえが オー!!!とか。

とにかく、狛江中が「ハッピー」になってほしいのです!!

笑顔のひと

明治大学3年生 諏訪部 汐さん・明治大学2年生 荒神 裕さん

どんな活動をしていますか?また、その活動に参加するきっかけや動機を教えてください。

大学のサークルに入部し、狛江市の重度障がい者の会「あすなる」のボランティアをしています。月1回、各種イベントで交流しています。

諏訪部さん:先輩に誘われて。最初は一度行ってみようかな。あすなるは楽しくてずっと続いている。

荒神さん:サークル部に入部。どの部門にしようかなと思っていましたが、「あすなる」に参加したら楽しくて担当になりました。

その活動の中で一番心にのこっているエピソードを教えてください。

諏訪部さん:4年生卒業ありがとうの会で、ボランティアの学生と会員さんとの心温まるふれあいに感動しました。

荒神さん:担当した会員から初めて名前を呼ばれた時です。



諏訪部 汐さん (明治大学3年生・写真向かって左)

荒神 裕さん (明治大学2年生・写真向かって右)

地域の活動に参加したい人に向けてメッセージをお願いします。

諏訪部さん:最初は若いこと、経験のないことなので、障がい者と交流することが不安です。同じ思いのある友人と一緒に参加してみると心強いです。

荒神さん:やりたいことはやってみる「勇気」が大事だと思います。高校生の時から興味がありましたが、勇気がなくてできませんでした。大学のサークルで一步踏み出すことが出来ました。

今後の抱負

諏訪部さん・荒神さん:会員との交流でたくさんの感動をもらいました。自分が落ち込んだり、つらい時も「あすなる」の活動で元気をもらい、また頑張れました。これからの人生、全然違う道に進んでも、どこかで何かのボランティア活動に参加したいです。

手話講習会できました! アナログ twitter

「○○なら、もっと笑顔になれる」

子供たちと歌を一緒に歌って、手話をつけて、発表会が出来るというイベント

お年寄りとお母さんが交流できる憩いの場があるといいな

多摩川の土手に柔らかな舗装道に散歩やジョギングがもっと楽しくなります。

みんなが少しずつ歩みを進めたいから

子ども達も自由に勉強できるスペースがあるといいですね

狛江が楽しくなる様々

絵手紙を勉強したい! 夜の絵手紙教室があるといいな

認知症の親と絵手紙で会話してみたいです。

食べ物ロス 買すぎない 作りすぎない 残さず食べる

それでも...なら みんな笑顔!

ヒーマン

市民活動 Plus ONE プラスワン情報

ルールを「見える化」してみよう!

どんなグループ・団体にも、大事にしたいことや、メンバー間のルールがあるのではないのでしょうか。みなさんの活動するグループ・団体では、そうした「なんとなくのルール」を規約や会則などとして「見える化」していますか? 「難しそう...」と苦手意識を持たれる方も多いのではないのでしょうか。確かに、ルールを決めることは、ちょっと骨が折れますね。

「会則」や「規約」は、活動するうえでの団体の指針やルールを文書化したものです。活動する上で迷ってしまったとき、新しいメンバーが増えた時など、メンバー間で共通認識を持つときに大変役立ちます。また、第三者からも見える形になっていることは大事なことです。

活動を続けていく中で、ルールに疑問が出てきた時や、活動に変化があった時など、必要によって見直していくことも大切です。その際は、必ずグループのメンバーで話し合って決めましょう。

市民活動に役立つヒントや、よくある質問などを「こまえくぼ」のスタッフがご紹介します。普段の活動にちょっとプラスしてみませんか?

さらに、「活動計画書」や「活動報告書」、「予算書」や「決算書」など、活動内容やお金の使い方について、予定や報告としてまとめておくこともオススメです。施設利用等の登録申請や、活動を発展させるための助成金申請の際にも、比較的スムーズに申請できます。

それぞれの書類については、任意の団体やグループであれば決まった形はありません。市民活動支援センター「こまえくぼ1234」には見本もありますし、作成のお手伝いをすることもできます。新しい年度に向けて「つくってみよう!」という場合には、ぜひご相談にいらしてください。

あまり難しく考えすぎずに、「私たちの団体って、こんな団体だよ!こんな活動だよ!」と、活動についてのメンバーの思いや、なんとなく決まっている事柄などを書きだしてみるところから初めてみるのもいいでしょう。活動についてみんなで見つめ直す良い機会になるかもしれません。

編集製作は、私たちが担当しました



創刊号『こまえがお』をお読みいただき、ありがとうございます。出来映えは如何でしょうか。忌憚のないご意見をお待ちしております。また、多くの方にご協力いただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

「こまえくぼ1234」広報部員大募集

1年間に3号(3月号・7月号・11月号)『こまえがお』を発行いたします。4コマ漫画でもご案内の通り、「読んだ方が笑顔になる」「読んだ方が元気が出る」を目指して取材や編集に取り組んでいます。興味のある方、楽しく狛江を知りたい方、広報誌作りにお力をお貸しください。

お問合せ先:「こまえくぼ1234」 ☎03-5761-5556 志田まで